

中期事業推進計画の成果目標達成状況表

担当部	担当課	総合計画の柱	大分類	中分類	小分類	施策の取り組み方針	成果指標	平成18年度 数値	平成20年度 数値	平成23年度末 目標値	達成率(%)	評価	平成20年度における目標達成状況に対する市の認識・評価							
産業振興部	工業振興課	製造業の振興と新たな産業の創出	既存製造業の振興	工業基盤の整備	工業基盤の整備	・企業の立地促進、既存製造業への支援策の展開により、雇用を充足し企業活動を活性化します。 ・新たな雇用確保と若者の地元定着による地域経済の活性化を図ります。 ・この地域の特性に合わせた「斡旋可能な土地」を把握し、企業誘致活動及び市内における工場の適正配置をすすめます。	新規企業の誘致数(延べ)	0社	1社	3社	33.33	△-	企業立地奨励金の活用や積極的なPR活動により、加子母地区に合板工場立地が決定しました。							
産業振興部	工業振興課						従業員数	12,870人	統計数値 H21.12以降	13,500人	100.01	◎	平成19年度までは、景気が回復基調にあり、雇用は増加しました。平成20年後半から世界経済の急速な悪化により、雇用情勢が悪化しています。							
産業振興部	工業振興課						製造品出荷額	37,519百万円	統計数値 H21.12以降	41,300百万円	95.20	◎	平成19年度までは、景気が回復基調にあり、製造品出荷額は増加しました。平成20年後半から世界経済の急速な悪化により、製造品出荷額が減少しています。							
産業振興部	工業振興課						新たな産業の創出	産学連携の推進	産学連携の推進	・産・学・官が連携し、企業における経営改善、技術開発、新分野への進出、起業の支援を行うことで、企業活力の増大、産業の活性化を図ります。	産学連携による技術開発、新分野への進出件数(延べ)	0件	0件	2件	0.00	×	産学官連携による商品開発等に結びついていません。			
産業振興部	工業振興課						就労環境の充実	雇用環境の整備	雇用環境の整備	・経済団体や企業、学校関係者と連携を図りながら、求人企業などと求職者のマッチングの場や提供に努めます。 ・若者の地元定着を促進し、ニート・フリーター対策を進め、雇用のミスマッチの解消、再就職支援など、勤労者が生涯にわたって安心して働ける雇用環境を整備します。 ・育児休業制度の普及・啓発、子育てのため退職した人の再就職支援なそ、働きながら子育てができる雇用環境づくりをすすめます。	管内高卒者地元就職率	48.9%	44.0%	50.0%	88.00	○	新卒者の働く場を確保することが困難となっています。雇用のミスマッチの解消が課題です。			
産業振興部	工業振興課										勤労者福祉の充実	勤労者福祉の充実	・ワーカーサポートセンターの各種相談機能を充実し、勤労者のセーフティネットの構築を図ります。 ・(財)中津川・恵那地域勤労者福祉サービスセンターの運営強化を図り、各種福利厚生サービスの充実に努めます。	勤労者総合支援センター利用者数	1,060人	1,863人	1,500人	124.20	◎	ワーカーサポートセンター利用者は増加しており、雇用に関する相談等きめ細かなサービス提供が実施出来ています。
産業振興部	工業振興課													ジョイセブン加入事業所数(延べ)	1,712事業所	1,842事業所	1,900事業所	96.95	◎	加入事業所数が前年度と比べ68事業所増えており、会員及び事業所のニーズに対応した福利厚生のサービスも提供出来ています。
産業振興部	林業振興課						地場産業の振興	木材関連業の振興	木材関連業の振興	・東濃ヒノキなどの木材を活用した地域の特産製品の開発を奨励し、ブランド化を促進します。 ・名古屋城本丸御殿復元事業を支援し、名古屋市が行うイベントなどに参加し、中津川市の生産材及び産直住宅を積極的にPRします。	木材産出額	395百万円	418百万円	473百万円	88.37	○	中津川市産東濃ヒノキのブランド化を図るために交流事業をはじめとする積極的なPRを実施したことにより、木材産出額も伸びました。			
産業振興部	工業振興課										石材業の振興	石材業の振興	・花崗岩を活用した新しい製品や加工技術、デザインの開発、石材の新しい利用法の開発を奨励し、ブランド化を促進します。 ・ひるかわ石が魅力ある地場産業の核として再認識されるとともに、公共事業への利用や、石の加工技術・製品開発によって新たな需要を高め、地域の活性化につなげます。	石材事業所数	35事業所	30事業所	33事業所	90.91	◎	石材事業所数は前年度と比べ、2事業所減ったものの、現在の世代において、後継者問題は発生していません。その次の世代にも引き継いでもらえるよう石材業の振興が課題です。
産業振興部	農業振興課						産業を活発にし、働く場を充実します	農業の振興	農業の振興	地産地消の推進と中津川ブランドの確立	・「ぎふクリーン農業」「エコファーマー」などの取り組みを推進し、直売所や朝市、学校給食への地元産農産物の利用拡大など地域内流通を一層推進します。 ・トマト、なす、栗など中津川市の振興作物について、栽培面積の拡大と環境への負荷の少ない栽培方法や新技術の導入を推進し、生産拡大と安定供給を図ります。 ・安全なクリーン農産物の生産拡大やブランド化への取り組みを支援します。 ・農道、用排水路、ほ場整備、ため池など、生産を拡大するための農業基盤の整備をすすめます。また、労力の提供など受益者の協力による市民参加型の事業を推進します。	地域特産物作付面積(トマト・なす・栗)	169ha	168ha	196ha	85.71	○	地域特産品の栽培面積は現状を維持出来ており、また安心・安全な農産物の生産・品質の向上を図るため、ぎふクリーン農業の取り組みを実施しています。		
産業振興部	農業振興課	農業産出額	9,983百万円	9,051百万円	10,200百万円	88.74						○	農業従事者の高齢化、後継者不足等により、農地の荒廃・遊休農地の増加などの問題が発生しており、農業全般において生産額が減少しました。							
産業振興部	農業振興課	認定農業者数(延べ)	119経営体	135経営体	150経営体	90.00						◎	認定農業者数は年々増加しており、農業経営の拡大、合理化が進んでいます。							
産業振興部	農業振興課	元気なやる気農業者数(延べ)	115経営体	169経営体	200経営体	84.50						○	元気なやる気農業者数は年々増加しており、農業経営の拡大、合理化が進んでいます。							
産業振興部	農業振興課	集落営農組織数(延べ)	10経営体	17経営体	15経営体	113.33						◎	集落営農組織も増加しており、経営の効率化が図られるとともに、生産コストの低減につながりました。							
産業振興部	林業振興課	林業の振興	産直住宅の推進と「東濃ヒノキ」ブランドの強化	産直住宅の推進と「東濃ヒノキ」ブランドの強化	・「産直住宅」に関する、林業、製材業、建築業、設計業の各分野において、品質、価格面で『東濃ヒノキ』のさらなるブランド化を推進します。 ・地産地消を進めるとともに、PRなどを強化して名古屋都市圏域などへの売込みを図ります。 ・木材需要量の多くを占める民間住宅や学校などの公共施設への利用を促進します。 ・「大黒柱贈呈」「大黒柱の森事業」などの地域材生産者・建築関係者・消費者(施主)をつなぐ取り組みを促進します。 ・「木匠塾」「大工セミナー」などの建築関係セミナーなどの開催により、将来建築設計に携わる学生などに東濃ヒノキを使用した伝統的な木造建築の良さ、利点のPRを行います。	産直住宅受注件数(延べ)						701件	814件	842件	96.67	◎	東濃ヒノキのブランド化推進や中京圏への積極的なPRにより、目標値に向け、産直住宅受注件数も順調に伸びています。			
産業振興部	林業振興課					東濃ヒノキ産出額						276百万円	276百万円	331百万円	83.38	○	東濃ヒノキの産出額は、現状維持できており、立木乾燥実証実験事業などを通し『東濃ヒノキ』のブランド強化を図るとともに、名古屋圏域へのPRもしっかり行っています。			
基盤整備部	農林整備課					健全で多様な森林づくり						健全で多様な森林づくり	健全で多様な森林づくり	・林業経営の効率化と健全な森林の育成のため、林道などの林業基盤の整備を進めます。 ・後継者の育成、生産団体の経営基盤強化の支援などにより、健全な林地管理のための体制整備に努めます。 ・森林は国土の保全、水源かん養、自然環境の保全など多面的な機能を有しているため、国、県の補助金、交付金を活用しながら間伐などの森林整備を行	林道延長	503.8km	504.1km	505.3km	99.76	◎
基盤整備部	農林整備課	林道舗装済延長	182.0km	182.9km	183.5km										99.67	◎	利用区域面積が増加したことによって、森林施業促進のため、舗装延長の拡大を図りました。			

中期事業推進計画の成果目標達成状況表

担当部	担当課	総合計画の柱	大分類	中分類	小分類	施策の取り組み方針	成果指標	平成18年度 数値	平成20年度 数値	平成23年度末 目標値	達成率(%)	評価	平成20年度における目標達成状況に対する市の認識・評価
産業振興部	林業振興課	産業を活発にし、働く場を充実します	農業・林業・畜産業の振興	林業の振興		い、災害に強い、また優良材が育つ山づくりをすすめます。	利用区域内森林面積	31,601ha	31,612ha	31,631ha	99.94	◎	利用区域内森林面積が前年度比で94ha増加し、森林施業可能区域が大きくなり、林業経営の効率化や健全な林地管理につながりました。
産業振興部	畜産振興課			畜産業の振興	地産地消の推進と中津川ブランドの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料資源の確保が可能な立地であるため、繁殖牛の増頭による地域内一貫生産体系を推進します。 ・畜産物生産過程での安全管理、品質管理を徹底し、これを保証する中津川ブランドの確立を図ります。 ・堆肥処理施設などの整備により家畜排泄物の適正管理及び利用を促進します。 	繁殖雌牛飼育頭数(延べ)	742頭	693頭	1,102頭	62.89	△+	農家の高齢化による廃業・子牛価格下落等の要因が重なり飼育頭数が減少しました。中津川市へ飛驒牛ブランドの定着、確立が課題です。
産業振興部	畜産振興課			畜産業の振興			管内堆肥流通量(延べ)	4,300t	6,827t	5,700t	119.77	◎	家畜排泄物の管内流通率は増加しており、堆肥の散布方法の効率化が図られています。
産業振興部	畜産振興課			畜産業の振興			家畜排泄物管内流通率	15%	17.60%	20.0%	88.00	○	家畜排泄物の管内流通率は増加しており、堆肥の散布方法の効率化が図られています。
産業振興部	商業振興課		商業を振興	商業の振興	中心市街地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市内及び市外からの市街地への流入を促進し、衰退した中心市街地のにぎわいを取り戻すことにより、市内全体の活性化を図ります。 ・中心市街地としてにぎわいがあり、安らぎとゆとりを感じるまち、市民が誇れるまち、となるよう整備を推進します。 ・周辺地域からのアクセスを容易にする道路や都市公園の整備、中山道などの歴史遺産を活かした景観の保全など、多様な側面から総合的に整備を推進します。 	中心市街地定住人口	3,357人	3,247人	3,153人	102.98	◎	全国的な少子化問題は当市にも例外でなく、居住人口が減少しています。中心市街地活性化基本計画に基づき、市街地ににぎわいの出る施策を実施していきます。
産業振興部	商業振興課						市営駐車場の1ヶ月当たりの平均利用台数	11,466台	13,947台	12,000台	116.23	◎	平成20年8月から2時間無料化を実施したことにより利用者は増加したものの、直接の商店街の利用にはつながっていません。
産業振興部	商業振興課						にぎわいプラザ利用者	22,347人	64,352人	50,000人	128.70	◎	利用者は増加していますが、リピーターが多くみられるため、広く利用者にPRしていくことが課題です。
産業振興部	商業振興課				中心市街地内の空き店舗数	11店舗	14店舗	6店舗	42.86	△-	空き店舗数は、年々増加しており、中津川市中心市街地活性化基本計画に基づき、市街地ににぎわいの出る施策を実施していきます。		
産業振興部	商業振興課				中心市街地における平日平均歩行者通行量	4,304人	4,273人	4,493人	95.10	◎	平日通行料は、目標値に向け伸びています。中津川市中心市街地活性化基本計画に基づき、商業などの活性化に向けて施策を実施しています。		
産業振興部	商業振興課				商店数(振興組合・発展会)	246店舗	265店舗	267店舗	99.25	◎	商店数については、おおそ現状維持を保っています。中津川市中心市街地活性化基本計画に基づき、商業などの活性化に向けて施策を実施しています。		
産業振興部	商業振興課	中津川ブランド商品の確立			<ul style="list-style-type: none"> ・中津川の和菓子を中心にPRするため、テレビ・ラジオ、雑誌などのメディアやインターネットなどの様々な媒体を活用した情報発信に努めます。 ・合併により幅が広がった地域の特産品を、「特産品ガイドブック」などにより新中津川市のブランドとして広くPRし、売込みを図ります。 	ぶらんどクリエーションの会員数	43社	45社	60社	75.00	○	会員数は目標値に向け伸びており、合併により広がった地域の特産品を含め、中津川市全体でなかつがわブランドを広くPRするために活動ができています。	
産業振興部	商業振興課 観光課	イベントの推進			<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの地域資源を活かしたイベント開催により、話題づくり、集客、販売促進、固定ファンづくり、まちのイメージアップにつなげ、集客力強化を促進します。 ・にぎわい広場などのオープンスペースを活用した様々なイベントを開催し、子どもから高齢者まで幅広い市民層をまちなかに呼び込みます。 ・産業振興イベントなど全域で開催できるものについては規模の拡大を図り、一体的な開催に努めます。 	まちなかイベント開催数	5回	16回	5回	320.00	◎	「中山道中津川宿・六斎市」を毎月第1日曜日(1月以外)に計画、年11回を実施し、まちなかに幅広い市民の呼び込みを行いました。春・秋の中山道祭など地域資源を活かしたイベントを実施しています。	
企画部 産業振興部	地域振興課 観光課	イベントの参加者数(おいでん祭など)			365,000人	317,000人	400,000人	79.00	○	地域の魅力向上、集客力強化等の波及効果を狙い、季節ごとの地域資源を活かしたイベントの開催を行いました。			
産業振興部	観光課	地域の魅力づくりの推進			<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の観光資源を活用し魅力ある広域周遊コースの設定などにより、観光客が様々な楽しみを選択できる、点から線につながる観光資源のネットワーク化をすすめます。 ・自然志向、健康志向のニーズに応える新たなメニューをパッケージ化し、地域の魅力を高めるとともに、広域観光のネットワーク化をすすめます。 ・地域の魅力を創出し、産業振興を図るため、古道と歴史文化遺産、自然や温泉などを結びつけたウォーキングコースづくりをすすめます。 ・木曾・伊那地域及び塩尻市や飛驒地域との連携強化に努め、広域観光ルートの設定などによる広範囲からの観光客誘致を図ります。 	観光客数	3,549,387人	3,973,244人	4,050,000人	98.10	◎	地域イベントを市民(実行委員会)と協働して魅力的に実施しています。平成19年からはイベント情報としてパンフレットを作成し、一元的な情報発信を行なったことが観光客の増加につながりました。	
産業振興部	観光課	ウォーキングの道設定延長(延べ)	95.9km	110.9km	115.0km	96.43	◎	健康志向の人が増えていることを受け、さわやかウォーキングやヘルスウォーキングなどへの参加者が増加しています。また、「なかつがわウォーキングの道づくり推進市民会議」により、平成20年度には「中津川・苗木城跡コース」が設定されました。					
産業振興部	観光課	交通・情報アクセスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「行きやすさ、分りやすさ」をキーワードに観光サインや案内表示、観光スポットへのアクセス道路などの整備を行い、快適で安全な交通アクセスの充実に努めます。 ・観光協会など関係機関と連携し、インターネットを活用した中津川市観光ポータルサイトの情報更新・充実を図ります。 	観光客数	3,549,387人	3,973,244人	4,050,000人	98.10	◎	市内5つの道の駅で構成される道の駅ネットワーク会議にて連帯した活動が推進されており、乗用車利用者への情報発信力が強化出来ました。			
産業振興部	観光課	観光ポータルサイトへのアクセス件数	0件	74,332件	240,000件	30.97	△-	平成19年に観光協会と協働して立ち上げた観光ポータルサイトについて、平成20年から利用者の利便を考慮し、市の情報と観光情報を互いに共有化できるようシステムを改良しました。					

中期事業推進計画の成果目標達成状況表

担当部	担当課	総合計画の柱	大分類	中分類	小分類	施策の取り組み方針	成果指標	平成18年度 数値	平成20年度 数値	平成23年度末 目標値	達成率(%)	評価	平成20年度における目標達成状況に対する市の認識・評価
産業振興部	観光課	産業を活発にし、働く場を充実します	商業と観光の振興	観光の振興	「もてなしの心」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が再び訪れたいくなるような心のこもったおもてなしをする「もてなしの心」づくりに努め、人情味あふれる中津川のイメージづくりをすすめます。 ・各地域の伝統・文化を伝える個性豊かな祭りやイベントを地域の情報発信の場と捉え、観光客との交流を促進します。 ・地域の豊かな自然、農業資源や石材・木工加工などの匠の技を活かし、増えつつある体験重視型の観光ニーズに対応します。 ・観光案内人や、中津川地域認定有資格者などのボランティア「中津川観光サポーター(仮称)」として、観光客受け入れ態勢を推進します。 	観光客数	3,549,387人	3,973,244人	4,050,000人	98.10	◎	中津川市観光交流サポーターを観光協会と協働して立ち上げました。イベントなどでボランティアスタッフとして参加していただき、観光客への「もてなしの心」づくりができました。
産業振興部	観光課						アンテナショップの設置(延べ)	未設置	1箇所	1箇所	100.00	◎	平成20年10月から12月までアンテナショップを名古屋市アスナル金山に試験開設しました。観光情報の発信や特産品の販売PRが実施できた。
産業振興部	観光課						イベント情報などの情報誌掲載数	10誌	11誌	15誌	73.33	○	情報誌掲載数が前年度比で5誌増加でき、更にスペース内に情報を分かりやすく伝えるレイアウト構成にも心がけ、効果的な情報発信ができました。